

2023年度版ソフトバレーボール競技規則の修正点（詳解）

2023年3月

公益財団法人日本バレーボール協会

審判規則委員会

6・9人制バレーボールの長所を生かしながらソフトバレーボールの本質である「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」に沿い適合したものとなるよう心掛け編集を行いました。

本年度は、サービスゾーンおよびショートサービスゾーンの表現をより明確にし、ダブルファウルの定義を明文化するなど、以下のとおり修正のみを行いました。

なお、前年度からの修正した部分は下線で表記しました。

修正点

1. 第1章 施設と用具

1 競技場

1.1 競技場

1.1.3 競技場は、平坦かつ水平であり荒れていたり滑りやすい表面であってはならない。

⇒競技場フロアについての表記を修正した。

1.2 コート

1.2.3⇒これまでの1.2.3を削除し、1.2.4の条文を繰り上げた。

1.3 サービスゾーン

1.3.1 サービスゾーンは、それぞれのエンドライン後方に位置する幅6.10 mのゾーンである。サイドラインの延長上エンドラインの20cm後方に15cmの長さで引く2本の短いラインにより両端を区画する。両方の短いラインはサービスゾーンに含まれる。

サービスゾーンの奥行きは、フリーゾーンの端までである。

⇒サービスゾーンの表記を修正した。

1.3.2 ショートサービスゾーンは、センターラインの1.98 m 後方に引かれたショートサービスライン後方のコート内とサービスゾーンによって区画される。

⇒ショートサービスゾーンの表記を明確にした。

3 ボール

ボールはゴム製で、重さ 200～220 g、円周 77～79 cmの公益財団法人日本バレーボール協会検定のソフトバレーボールを使用する。なお、色については規定しない。

⇒ボールの重さと円周の表記を修正した。

※小学生競技規則 1.3 第1表の円周の表記も修正した。

2. 第3章 試合の準備と進行

7 トス⇒キャプテンの表記を削除した。

8 公式ウォームアップ⇒チームの表記を削除した。

※小学生競技規則 2 についても同様に修正した。

9 ラインアップシート⇒チームの表記を削除した。

11 競技の中断

11.2 選手交代⇒表記を修正した。

11.2.2 交代選手は、1セットに一度だけ同年齢区分の同性のスターティングメンバーと交代して競技に参加できるが、コートを離れる選手と同じ選手としか交代できない。
⇒競技から退く場合の表記を修正した。

11.2.3 選手交代は、複数の選手を同時に交代させることもできる。
⇒人数の表記を修正した。

12 コートの交替（コートチェンジ）

12.2 第2セットの終了後1対1となった場合は、もう一度トスを行い、その結果によりコートを決める。
⇒キャプテントスの結果の表記を修正した。

15 得点の方法

15.1 相手チームがサービスや返球に失敗したり、または他の反則をしたときは、ラリーに勝って1点を得る。また、もし相手がサービスチームであれば、サービス権も得る。

15.2 ダブルファウルのときは、得点やサービス権は変わることなくプレーのやり直しとなる。
⇒ダブルファウルの定義を明文化し、項目を二つに分けた。

16 セット（試合）の没収

16.2 回復しない場合そのチームは不完全となり、そのセットを失い、次のセットの開始時に回復していない場合には、その試合は没収される。

16.3 相手チームに対しては、そのセットまたはその試合の勝者になるために必要な点数が与えられ、不完全となったチームのそれまでに得た得点は生かされる。
⇒失格の表記を不完全に修正した。

16.4 年齢区分別や性別によってチームを構成しているので、病気や負傷などの理由でやむを得ない場合、11.2.6 の条件に基づき高年齢区分の選手が低年齢区分の同性の者との交代を認める。
⇒適用条項を加えた。

3. 第5章 プレー上の動作と反則

17 サービス

17.3 サービス順

17.3.2 ラリーに勝ったチームがサービスをレシーブしたチームであれば、サービス権を得てローテーションし、バックライトの選手がサービスを行う。
⇒17.3.1 に合わせた表記に修正した。

18 ボールへの接触

18.2 ブロックの接触を除いて選手は連続して2回ボールに接触することはできない。

18.3 ブロックの接触を除いてチームの第1回目打球のとき、ボールが身体の2ヵ所以上に連続して当たってもよい。ただし、その接触は一つの動作中のものに限られる。
⇒ブロックの接触を除く表記を追加した。

4. 第6章 不法な行為とその罰則

23 罰則につながる不法な行為

23.5 攻撃的な行為：実際の身体的攻撃、または攻撃的、威嚇的な行為。

⇒暴力的な行為の表記を攻撃的な行為に修正した。

※第1表 不法な行為に対する罰則段階表の暴力的な行為の表記も修正した。

5. 第7章 審判員とその責務および公式ハンドシグナル

31 主審と副審の公式ハンドシグナル（第10図）

⑤ダブルファウル（ノーカウント）の規則 11.5、15.2、18.7、22.14、26.2.2.2(d)、27.2.2.6

⇒ダブルファウルの定義に関する条項を追加した。

31.3 副審が吹笛した場合のハンドシグナル

31.3.3 主審がサービスチームを示した後に続き、サービスチームを示す。なお、この場合主審は、次にサービスを行うチームのみを示す。

⇒カッコ書きの表記を本文に組み入れた。

6. その他

規則・ケースブックをより読み易く理解しやすいように表記の見直し、字句を修正した。